

投稿テーマ 私の「市民活動はじめての一步」 ～あのとき、あの場所で～

12年前、長岡にUターンしてきた年に友人から誘われて、父が実行委員だったこともありほぼ強制的に参加させられた「全日本丸太早切選手権大会」が最初の市民活動。それか
らしばらくは他に活動をしていませんでしたが、1年の抱負を
「誘いは断らない」にした時から急にいろいろな市民活動に関
わるように。長年、丸太を切ったりしてきた成果です。おかげさ
まで楽しい市民活動だらけです (^o^)/ 投稿者 おーしさん

地域活動を始めるきっかけのひとつは集落総代を任されたこと。
初めての総代だったうえ、中越地震からの復興へ向けた集落活動
初めでの総代だったうえ、中越地震からの復興へ向けた集落活動
も同時進行とかなり大変でしたが、協力のおかげでなんとか一年
が過ぎた年度末、やっと肩の荷が降りると思いき、ホッとしていたら集
落の中から「地域づくり活動はお前がやってくれ」との一声。他のみ
んなも「それが良い」とのこと、引き受ける(やらされる?)ことに。
これが「竹田元気づくり会議の代表」の始まりです。その活動のな
かですべてのボランティアとのつながりは今も続いて
いて、塞ノ神や元気づくり会議のイベントに顔を出してくれる人も
久しぶりに会う皆さんの笑顔を見ると「あのとき断らず引き受けて
良かった」と心から思う今日この頃です。

投稿者 川口地域むすび隊 砂川祐次郎さん

私は「農と福祉」を軸に様々な市民活動
に身を投じています。問題解決のための
糸口を探る、もしくはそれを解決するた
めに必要だったため、はじめての一步を踏み
出しました。農業は私の生業であり、「地域
の農業問題を何とかするためには抜本的
な改革を!」と始め、福祉に関しては私の
子どもがダウン症であることに係りして
います。当初の思いはいつも意識すること
が大事です。はじめの一步が最後
の一步まで。いつもその気持ちを忘れず
に今後も市民活動団体に頑張っていきた
いと思います。 投稿者 白井健太郎さん

「地域活動」という思い出
すのがクリーンデーです。小
学校の頃、親や近所の友達
と一緒に大きなゴミ袋を持
ってゴミ拾いに出かけました。
朝早くから、眠たい目をこす
りながらゴミを拾っていると
意外とゴミが落ちているのに
気付きました。毎日通ってい
る通学路なのに…。「誰かが
拾ってくれている」「誰か」
になってみたいなあと思った
瞬間でした。

投稿者 げっちゅーさん

寄せられた投稿は
つながりで読まれるかも!

投稿 募集

投稿テーマ 「これも協働!?!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿方法 投稿フォームを使う QRコードから投稿フォームへアクセス
してください。
協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口を設置されている「み
んなの声」コーナーからも投稿できます。

つながるラジオ 週替わりで市民活動団体を紹介するFMながおかのラジオ番組。
■放送局: FMながおか (80.7MHz)
■放送日: 毎週月曜日17時頃～(10分間) ※第5月曜日を除く

column 市民活動・虎の巻

いろんな主体を巻き込むポイント

特定非営利活動法人思いのほか 代表・栗原里奈さん

特定非営利活動法人思いのほかは、農と
食を活かしたイベントを通じて、長岡の魅力
を発信しています。イベントには飲食店・生産
者の方々のご理解・ご協力が欠かせません。



協力者を探す際には手当たり次第声かけをするのではなく、メン
バーの人脈を活かし、自分たちのビジョンや想いに共感して頂けそ
うな方に相談します。協力者決定後は飲食店であればイベント実
施日時をあまり負担にならない曜日や時間帯に設定したり、料理の
提供方法をお店の意向に合わせて、イベントのコンセプトを守り
ながら柔軟に構築しています。お店側としては生産者や新規のお
客様と繋がるきっかけになっており、メリットを感じていただけて
います。自分たちの想いを発信することも大事ですが、協力者やイ
ベントに来てくださる皆様が喜んでいただけるかを意識することも大
事かなと思います。

※この記事はWEBサイト「コライト」からの抜粋です。

information センターからのお知らせ

無料でロッカー& レターケースお貸しします!

協働センターには団体の活動に使う物品を保管できるロッ
カーと、団体宛郵便物の受け取り場所として使えるレター
ケースを貸出しています。無料でご利用いただけますので、
ぜひご利用ください!

【ロッカー】

- ・1団体1カ所、18団体まで
- ・ダイヤル式ロック錠
- ・内寸…高さ31cm×幅41cm×奥行41cm
- ・火気等危険物、液体、臭気の出る物は保管できません。

【レターケース】

- ・1団体1段、10団体まで
- ・内寸…幅24.9cm×奥行33.5cm
×高さ3.95cm (A4サイズ)

【注意事項】

- ・市民活動等、非営利で公益的な活動を行う団体に限ります。
- ・貸出し数に限りがありますので、お申込み多数の場合は抽選になる場合がございます。
- ・毎年度更新となります。(申込期間: 2月上旬～3月上旬、空いている場合は随時受付)



らこら

Racotte
vol.62

発行 ● ながおか市民協働センター

2018
2
FREE

地元で輝く元企業戦士
廣川一男さん



インタビュー
interviews



市民活動で出会った仲間と進むパラレルキャリアママ

赤川美穂さん

● 団体PickUp!

「苦手なことに寄り添って、
できることにはどんどん光を当てる」
特定非営利活動法人ピュアはーと

「木のぬくもりを次世代につなぐ」
木楽な会

「そば打ちでつながる地域の輪」
川口そばネット

「ダンスで非日常を演出」
マジウム・アレーヤリ

● 長岡企業のソーシャルアクション!

「会社を地域に“ひらく”ことから」
杉山工業株式会社 / 駐車場・トイレなどの一般開放

● みんなの声

投稿テーマ 「私の『市民活動はじめての一步』
～あのとき、あの場所で～」

コライト、見ないと!

コライト 検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協
働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅
広く掲載しています。らこらでのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこら 2018.2.1 FREE 【発行】ながおか市民協働センター
(vol.62)

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアール長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、
コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。



毎週月曜日17時頃から放送中!

つながるラジオ
FMながおか 80.7MHz
ながおかの市民活動紹介番組
放送時間 10分程度
第5月曜日を除く



廣川一男さん〈70歳／会社役員〉株式会社 宮本村

定年後、私の勤めは地域づくり 活躍の場は会社からふるさとへ

イベントへの出店や公園の清掃業務などを通して地域の活性化と発展を図るため、長岡市宮本地区住民の出資により平成2年に設立されたまちづくり会社「(株)宮本村」。廣川さんは、ともに宮本地区で生まれ育った親友からの誘いをきっかけに設立時から出資者のひとりとして活動に参画。「よく学びよく働いて会社に貢献し、定年後はそれまでの経験を活かして生まれ育った宮本地区に恩返ししたい」といつも考えていました。旅行会社などを経て退職後にUターンしてからは会社員時代の経験を活かし、ビジネスの視点から(株)宮本村の活動を後押し。代表の右腕として組織運営を支えています。

「健全な組織運営のために、売り上げなどの数字をチェックすることが大切」と言いながらも、常に意識しているのは数字の背景にある現場の様子。出店するイベントなどには

積極的に出向き、お客さんの反応を肌身で感じ、そこで得た気づきをもとに改善を繰り返します。「徹底した現場主義と数字への意識は会社員時代に培いました。現場に行ってお客様の気持ちにならないといいモノが生まれられないのは、まちづくりでも同じですね」。ビジネスの環境で磨かれたサービス提供の先にあるお客さんへの意識が、持続可能な経済循環を伴う「コミュニティビジネス」的な組織運営につながっています。

「自分の経験を地元のために活かすことができて最高に幸せだと思います」と話す一方、70歳を過ぎ次世代へのパトタッチの意識は日々強まっています。「いまの若い方は以前とは違い、地域のために割ける余裕が少ないのかもしれないですね…。知識や経験をふるさとに還元することの喜びを若い方に伝えていきたいです」。



●上：(株)宮本村名物、ジャンボ鍋とともに市内外のイベントへ出店。まちづくり会社として、食を通して地域を盛り上げるほか、イベント出店後は懇親会を欠かさず、地域住民との親睦を深めています。●左：(株)宮本村の株主総会で収支報告をするのも廣川さんの役目。「持続的な経営が何よりも地域貢献」との意識から、日々の経営状況に目を光らせます。●右：旅行会社に勤めていたころも、今と変わらず現場のお客様との交流を大切にしていた。

profile

- 1947年 長岡市宮本町生まれ。(株)宮本村の代表・深見氏とは幼馴染の同級生で、当時から気の合う親友。
- 1970年 国鉄系の大手旅行会社に入社。人生の計画を立て、「定年後は地元で貢献する」と心に決める。
- 1990年 (株)宮本村設立。ひとりの株主として活動を支援。当時は転勤で地元を離れており、限定的な関わりしかできなかった。
- 2016年 大手旅行会社を退職後、幾つかの旅行・観光開発の会社及び団体を経て、(株)宮本村の専従役員に。

活動の根っこ

出会う、感謝、ふるさと大切に
廣川一男



赤川美穂さん〈41歳／看護師〉みんな大学@越後長岡、Nagaokaみんなの子育てラボ

「自分を変えたい」と踏み出した一歩が転機に 市民活動から見えてきた本当の自分

幼い頃から好奇心はあるものの、内気で人の輪に入るのが苦手だった赤川さん。大人になり仕事をする上で、人との距離の取り方や人付き合いが悩みました。そんな自分を変えたいと思っていたとき、偶然見つけた『みんな大学@越後長岡』のイベントに参加することに。この一歩が赤川さんを変えました。「“みんな大”をきっかけに、人付き合いの楽しさや距離の取り方、人との繋がりの大切さを学びました。ここで得たことが仕事やプライベートでも活かしています。最近では参加者側としてだけでなく、企画側としてイベント運営の裏方にも挑戦中。市民活動の新たな楽しみ方を感じています。

赤川さんが大事にしているのが“ご縁に感謝すること”と“自分の直感”。昔はイイ子でいるため、自分の意志よりも正しいか・正しくないかで物事を選んでいました。今は直

感で自分が楽しいか・楽しくないかで選択するように心がけています。「市民活動を通して出会った方々のおかげで自分を認められるようになりました。自分に素直に生きれば苦悩も受け止められます。今が一番自分らしく、楽しく暮らしている気がします」。

さらに「受け身な自分を変えたい」と『Nagaokaみんなの子育てラボ』を設立。まちなかキャンパス市民研究所への参加を経て、研究の成果を子育て中の親たちに届けようと、そのときの有志メンバーと立ち上げました。「表に出る立場で何かをするのは初めて。好奇心も恐怖感もありますが、今のメンバーとならやっていると良かったです。子育てがもっと楽しくなるような活動を細くても長く続けていくことが目標です」と前向きに話す赤川さんの今後の活躍が楽しみです。



●上：市民研究所メンバーとの集合写真。メンバーとは刺激し合えるいい関係。●左：変わるきっかけとなった“みんな大”の最近行われたイベントの一コマ。現在も積極的に参加しています。●右：幼い頃のお子さんと2ショット。赤川さんは「娘が大人になったときの選択肢が広がったら…」と思い、できる限りイベント等には一緒に参加するように心がけています。

profile

- 1976年 東京都生まれ。2歳のときに父のUターンで長岡市に移住。専門学校卒業後も長岡市内で働く。
- 2013年 初めて「みんな大学」のイベントに参加。たくさんの人との出会いや気づきを得る。
- 2016年 まちなかキャンパス市民研究所「みんなで育てる・みんなが育つ」に参加。
- 2017年 市民研究所のメンバーと有志団体『Nagaokaみんなの子育てラボ』立ち上げ。

活動の根っこ

みんなで育てる
みんなが育つ
v 赤川美穂 v

団体PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

特定非営利活動法人ピュアはーと

苦手なことに寄り添って、できることにはほとんど光を当てる



特定非営利活動法人ピュアはーとは、青葉台地区を拠点に、地域活動支援センターや放課後等デイサービスなどの事業を通し、障がいのある人たちに、地域の中の居場所を提供しています。さをり織りの作業や、体力づくりのランニングなど活動の積み重ねにより、できることが増えていく姿に活動の意義を感じています。これからも、1人1人の可能性に光を当て、社会の一員として豊かに暮らせるよう、応援していきます。

川口そばネット

そば打ちでつながる地域の輪



川口地域の和南津地区と田麦山地区、木沢地区などのそば愛好家団体や個人が「一緒にやってみたら?」という声から集まり2011年の年末に発足した「川口そばネット」。同地域で開催されている雪まつり「雪洞火ぼたる祭」では、2012年からそばの出店をしています。寒空の下食べる、手打ちの熱々そばはお客さんからも好評!各地区的そば打ち技術を参考にし合い、研究を重ねることで腕に磨きをかけています。

木楽な会

木のぬくもりを次世代につなぐ



平成20年に大工や左官工といった越路地域の建築職人が集まり設立。ものづくりや建築について考え、意見を交わしあったり、地域イベントに参加・協力するほか、木工製作を通じて地域貢献をしています。作製した木製遊具を活用して、木に楽しく触れる機会を提供することにより、多くの子どもたちが建築やものづくりに興味を抱くことを願っています。職人の遊び心を大切にしながら活動を続けます。

ヌジュム・アレヤーリ

ダンスで非日常を演出



きらびやかな衣装をまとい、アラブの曲にあわせ華麗な踊りをするベリーダンス。同じダンススクールの卒業生が集まって作ったサークルで活動し、6年以上が経ちました。ヌジュム・アレヤーリとは、アラビア語で「夜の星」を意味します。当時のダンス講師が、一人ひとり星のように輝いてほしいと名付けてくれました。市民活動フェスタや中之島まつりに出演し、ステージを盛り上げています。

長岡企業のソーシャルアクション!

地域活動を支える企業をご紹介します

杉山工業株式会社／駐車場・トイレなどの一般開放

会社を地域に“ひらく”ことから

和島地域の本社近くを拠点に活動する市民団体のイベント時に、駐車場とトイレを一般開放したり、収穫した野菜の洗い場を提供しています。市民活動により景観が守られ、活気が戻っているのでお互い様の気持ちです。一般開放するのは休業日で社内が慌ただしくないので、大きな負担や混乱はありません。「社会貢献」と構えず日々コミュニケーションの延長で私達にできる貢献をしています。

